



茶の薫る丘

開校47周年

令和8年9月1日発行

はじめに、このたびの熊本の地震、また千葉で発生した洪水により、お亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表します。あわせて、被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧・復興と、皆様の平穏な生活が戻りますことをお祈り申し上げます。

さあ2学期の始まりです！まだまだ暑いですが、その暑さを吹き飛ばすような元気のある子供たちが学校に戻ってきました。子供の順調な成長がうかがえます。2学期は、82日間と一番長い学期であり、体育祭や合唱コンクール、などの学級が一丸となって取り組むべき行事があります。そして、これら行事を通し、子供は、仲間との絆を深めたり、責任感や優しさ、努力や諦めないことの大切さ、等を学ぶのです。この経験は、思い出と共に、将来役立つ「力」となります。子供たち全員が確実に力を身に付け、更に成長できるよう、教職員一同、2学期の学校生活を充実させてまいります。保護者の皆様には、引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

第二学期始業式 校長式辞より（一部抜粋）

……さて、2学期始業式を迎えた今日、「面壁九年(めんぺきくねん)」という言葉 皆さんに紹介したいと思います。この言葉は中国の「達磨大師(だるまだいし)」さんという徳の高いお坊さんの修行から来ています。

「達磨大師」さんとは、みなさんも遊んだことがある「だるまさんがころんだ」の「だるま」さんであり、もっと小さい頃には「だーるまさん、だーるまさん、にらめっこしましょ。あっぱっぴー。」の「だるま」さんです。また、室町時代に日本に伝わった起き上がりこぼしは、江戸時代になってあの赤い「だるま」さんになり、「七転び八起き」という言葉も生まれました。「達磨大師」さんは、仏教の1つの流派「禅宗」の始祖です。そして、この「達磨大師」さんについては、色々なお話が語り継がれています。中でも有名なものが、この「面壁九年」です。「面壁九年」とは、壁近くに座禅し壁に顔を向けたまま修行を行い、九年かかって悟りを開いたといわれていることを表します。

当時、「達磨大師」さんの名前は世間に知れ渡っていて、皇帝から宮廷に招待されるほどの名声を誇っていました。そんな「達磨大師」さんの名声をねたむものからは、修行中に、殴打されたり、石を投げつけられることもあったそうです。それでも「達磨大師」さんは、壁に向かっての座禅を続け微動だにもしなかったそうです。やがて投石は顔に当たって歯が欠けたと言われます。更には、毒を盛られたりもしたそうです。その修行の厳しさは、手足が腐って切り落とさねばならないほどだったと言われます。

皆さんが知っている赤くて丸いだるまさんや絵に描かれた「達磨大師」さんは、怖い顔をしています。あれは、他人をにらみつけているのではなく、手足が腐るほどの修行に、くじけそうになる自分の心を見つめて、苦しみに耐えている形相なのです。

このことから「面壁九年」とは、「1つの物事に対して、忍耐強く専念してやり遂げること」とか「長い間、わき目もふらずに打ち込んで努力すること」となっています。

私は、ここまでの努力はしたことがないので、大きなことは言えません。皆さんにももちろんここまでの要求はしません。ですが、何かを成し遂げるための決意や努力の必要性が伝わってくるお話です。そして、義務教育はちょうど9年間です。ですから皆さんに紹介しました。義務教育の9年間で、皆さんも是非、自分の夢や希望を持ち、それに向けての決意や努力、そして、決してあきらめない不屈の精神を養っていただきたいと思います。……

話は変わって、2学期は、体育祭や合唱コンクール、学年別では新人体育大会、生徒会役員選挙、社会体験チャレンジ、盆点前等の行事があります。その一つ一つは、正に「挑戦」の「チャンス」です。「チャンス」を大事に全力で取り組んでください。そうすれば、きっと成果が出るはずです。もし仮に、成果が出なかったとしてもあきらめずに続けることで、自分もしくは自分たちの成長が実感できるはずです。「目標設定」「努力」「チャンス」「挑戦」はもちろん、「あきらめない」を、この2学期の各自のキーワードにしてください。

7/16 大掃除（1学期の汚れを落としました）



7/17 終業式代表生徒（暑さ対策で放送室から）



7/17 研修会（救急救命法！先生たちも勉強！）



7/18 夜間パトロール（ご協力ありがとうございました）



7/21 民生委員連絡協議会（いつもありがとうございます）



○ 吹奏楽部大活躍(市内音楽会、吹奏楽コンクール)



8/8 相撲部関東大会（全国大会大会にも出場します）



○ 夏休みボランティア活動（地域でも大活躍！）



45日間の夏休みも終わり、2学期が始まりました。今年の夏は、各地で災害に見舞われた方が大勢いました。また、今もご苦勞をされている方が大勢います。今日から始まる2学期の生活では、今何をすべきかを常に考え、自分のため、仲間のための言動を心がけましょう。2学期も全力投球でがんばっていきましょう！「静・ジャック」

